

1 文献名
『四郷小学校百周年記念誌』
2 学校名
四郷小学校
3 災害名
昭和 34 年（1959 年）伊勢湾台風
4 記述の概要
（1）雨や風、地震などの様子
伊勢湾台風により、当地は、最大風速 59m、平均風速 45m、連続雨量 145mm という記録を示した。（P176）
（2）学校内や地域の被害の状況
四郷小学校は、校舎 3 棟全壊、講堂大破、2 教室半壊、その他屋根瓦各所破損、という大きな被害を受けた。校舎の出入口や廊下には、ガラスや瓦の破片が散乱していた。（P176）
（3）復旧の様子
台風翌日の 27 日（日）、自家の被害も顧みず、職員たちが次々と駆けつけ、作業を手分けして始めていた。 28 日（月）には、子供達が登校して、校舎への立ち入りを禁止し、全校集会では、校長より「平素のように落ち着くこと、危険防止の心得」などの訓話が行われた。集会後、運動場で学級ごとの指導があり、5・6 年生だけが残って、新校舎内外の片付けや清掃などの作業が行われた。 災害後 5 日目の 10 月 1 日から授業が開始された。校舎の屋根瓦は飛散し、窓ガラスは破損のままであったため、男の教師達によって破損個所の応急修理が行われた。 自衛隊と父母や地区の人達により、連日手弁当で、倒壊校舎の屋根瓦めくり、古材の搬出、備品の取り出し等の作業が行われた。 伊勢湾台風の災害復旧工事として、昭和 35 年 3 月より、講堂横に 2 階 4 教室の西校舎が建築され、続いて昭和 36 年 3 月に 3 階 6 教室の鉄筋校舎が完成した。 （P176～177）
（4）体験談
当時の学校長による体験談が収録されている。（P176～177。その概要の一部は、「4 記述の概要」の各項目に記載。）
（5）教訓など
（6）その他